

3月

校長室だより 3月号 西麻植小学校



出会いが育てる「いのち ころろ なかま」



3月に入り、春の訪れを感じる季節となりました。一年の締めくくりの月です。

先日の冬季オリンピックで、フィギュアスケート・ペアの三浦璃来選手と木原龍一選手が金メダルを獲得しました。三浦選手は「龍一くんに巡り会えたのは奇跡」と語っています。互いを信じ、支え合い、幾度もの困難を乗り越えてきた歩みが、日本のペアの未来につながる大きな一歩となりました。

そこには、本校の学校教育目標「いのち ころろ なかま」の姿が重なります。一人では乗り越えられない壁も、仲間となら乗り越えられる。相手を思いやる心が、信頼を生みます。その積み重ねが、自分のいのちを輝かせていきます。

この一年、本校でも多くの出会いがありました。6年生は最高学年として、下級生を気遣い、学校を支えてくれました。その姿は、「なかま」を大切にする姿そのものでした。在校生のみなさんも、日々の学習や行事の中で、互いを認め合いながら歩んできました。その関わりの一つ一つが、「ころろ」を育て、「いのち」を尊ぶ力につながっています。

そして、子どもたちの成長の陰には、いつも保護者の皆様、地域の皆様の温かな支えがありました。登下校の見守り、学校行事へのご協力、PTA活動へのご尽力。皆様の「なかま」としての支えがあってこそ、子どもたちは安心して学校生活を送り、のびのびと成長することができました。心より感謝申し上げます。

卒業や進級は別れでもありますが、それは新しい出会いの始まりです。これからも、一つ一つの出会いを大切に、「いのち」を尊び、「ころろ」を磨き、「なかま」と共に歩む学校であり続けたいと思います。

この一年のすべての出会いに感謝し、次の春へ進みましょう。

『なわとび集会』 ☺ 一人一人が縄跳びの技に挑戦し、温かい応援の姿にも感動！ ☺

